

## 四日市版コミュニティスクール報告書（令和元年度総括）

四日市市立橋北小学校  
校長 長谷 由香

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 地域とともにある学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々と活動を継続・発展させ、「地域とともに子どもを支える学校」の推進を図ります。

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

## (1) 教育活動の実践事例

## ①学習ボランティアさんによる学習支援

地域や保護者の方々に呼びかけ、学習ボランティアとして学習支援のご協力をいただきました。本年度は、1年生の水泳指導、読み聞かせ、防災学習で、学習ボランティアに入っていました。水泳指導では、小学校のプールに初めて入る1年生で、シャワーの浴び方やプールへの入水の仕方等の学習規律に加え、蹴伸び・伏し浮きなど、水慣れの運動を教えていただくことにもご協力いただきました。また、地域と連携して行う防災学習では、PTAの皆さんや地域の方々に講師となっただき、防災に関する様々な学習や体験の支援をしていただきました。この学習では、防災に関する知識・技能を学ぶだけでなく、地域や保護者の方々と子どもたちが交流を深める貴重な機会ともなりました。

図書を読み聞かせでは、学年に応じて児童らが興味を持ちそうな図書を準備していただき、年3回実施する読書週間でたくさんの絵本を読み聞かせしていただきました。

【水泳の学習支援】



【防災学習への支援】



【読み聞かせ】



## ②体験学習

本校は、旧東海道沿いに位置し、校区は商店街、住宅地、工場地、農地が混在する地域です。また、伝統工芸万古焼の産地でもあります。地域の方々の協力を受け、それら様々な地域素材を活用した体験学習を行っています。毎年、5年生は校区にある田んぼをお借りし、お米作り

を体験します。お米作りを通して、子どもたちは、季節を感じたり、自然と触れ合ったりすることができます。また、地域の方々と触れ合いながら、お米作りに取り組む苦労や喜びを知ることができます。収穫したお米は自然教室に持っていき飯盒炊爨をしたり、お米作りでお世話になった地域の方々を招いて、お米パーティーを開いたりして、今年もおいしくいただきました。

その他にも、1年生で花の苗植え体験、1・2年生で昔の遊び体験、4年生で絵付け体験、6年生で万古焼体験を行いました。

【田植え体験】



【稲刈り体験】



【飯盒炊爨】



### ③ゲストティーチャーによる地域学習活動

4年生では、国語「誰もが関わり合えるように」と関連させて、橋北地区にある在宅支援センター「楽々館」との交流活動を行いました。交流活動では、施設のバリアフリーを見学したり、楽しい時間を過ごすために事前に考えてきた方法でお年寄りと交流したりする体験をさせていただきました。また、学校では、施設の職員である岩崎さんと鈴木さんをゲストティーチャーに迎え、車いす体験や高齢者疑似体験を行いました。ちょっとした段差でも思うように移動できない車いす体験や普通の文字が読みにくかったり、体を思うように動かせなかったりする高齢者疑似体験を通して、高齢者の方々の思いや高齢者の方々に対する接し方などを考えることができました。

様々な体験をした後、最後に、鈴木さんから「命の授業 ～折れない心を育てる～」をしていただきました。「誰でも命は大事だということは知っている。しかし、命は大切と分かっているけど、何かがあって、いじめや暴言、自殺などの行為を起こしてしまう。人の心の中にある苦しみがその原因となるのだろう。苦しみをわかってくれる人になろう。人の思いを聞いてくれる人になろう。」をテーマに、お話や相手の気持ちを受け取るためのスキルトレーニングをしていただきました。

「楽々館」との交流や職員さんによる体験活動等を通して、相手を思いやることの大切さや相手の立場や気持ちを理解することの大切さを感じるとともに、自分たちにできることを考えようとする意欲をもつことができ、有意義な学習活動となりました。

【お年寄りとの交流】



【高齢者疑似体験】



【命の授業】



## (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

コミュニティスクールの前身である「すくすくサポート」「学校づくり運営協議会」のコーディネートにより、本年度もたくさんの地域の方々に学習活動・体験活動の支援や学校の環境整備等へのご協力をいただきました。地域の方々とのかかわりを大切にした体験活動や地域素材を活用した学習は、地域のことを知り、地域に住む方々の思いややさしさに触れ、自分たちの地域を大切にしようとする心を育むことにつながりました。また、地域と連携しておこなっている防災学習では、運営協議会委員の方にも講師を務めていただき、防災学習を進めることができました。ただ、防災の知識や技能を身に付けるだけでなく、地域や保護者の方々と子どもたちの繋がりもでき、地域と学校の連携・協力も深まりました。

本年度はコミュニティスクール初年度ということもあり、運営協議会では、委員の皆さんに、学校の様子をよく知っていただくことを目的に活動を進めてまいりました。各ビジョンリーダー（学力向上・健康安全・心の教育・教職員の指導力向上）による取組の説明や教職員と委員の皆さんとの意見交換を始め、給食の試食や授業参観等の活動を行いました。その上で、たくさんのご感想やご意見をいただきました。

コミュニティスクール運営協議会は、自治会長さん・民生委員さん・学習ボランティアさん、PTA 役員さん等10名の委員さんで構成されています。地域の様子や学校に関わっていただいている方の感想・保護者の思いなど、運営協議会の場では、学校教育活動に対してさまざまなご助言やご提案もいただきました。

防災学習を更に充実させていくためのご意見、子どもたちの自尊感情を高めていくために学校・地域・家庭がどのようなことに気を付けていかなければならないか、また、どんなことができるのか等のご意見など、今後の教育活動に活かしていきたいと考えています。

【児童との給食試食会】



【教職員との意見交換】



【会議の様子】



## 3 今後に向けて

地域の方々や運営協議会委員さんが参画して、学校の授業やさまざまな活動に支援をいただいたことは、子どもたちの学力向上だけでなく、思いやりや優しさを育てることにもつながりました。今後も、地域学習や体験学習を更に充実していけるよう、実践を振り返り、活用方法や年間計画を引き継ぎながら、地域・保護者との連携の取組を進めていきたいと考えています。

また、運営協議会の場で学校教育活動に対してさまざまなご意見をいただくとともに、授業参観や学校公開等の機会を捉えて、学校の現状を把握していただき、年度末には学校関係者評価をいただきました。いただいたご意見やご示唆は、来年度の教育活動に反映させていただきます。地域・保護者との連携を図るためには、どんな取組であれ、学校が一生懸命にやっている姿をしめすことが大切であると考えています。本年度出されたご助言・ご提案をもとに、今後も、学校づくりビジョンに沿って、地域とともにある学校づくりを目指し、取組を進めていく予定です。

## 別紙B

## 令和元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立橋北小学校

委員長 服部 浩明

校長 長谷 由香

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	31日(金) 9:00~11:00 第1回運営協議会	(1) コミュニティスクールについて (2) 学校づくりビジョンの説明と承認 (3) 活動方針及び年間活動計画について (4) 学校運営に対する意見交流
6		
7	3日(水) 10:30~12:30 第2回運営協議会	(1) ビジョンリーダーより取組報告 (学力向上・健康安全・心の教育・指導力向上) (2) 協議・情報交換 (3) 児童たちと給食交流
8		
9	30日(月) 15:00~16:30 第3回運営協議会	(1) 委員と教職員との情報交換会
10		
11	16日(土) 9:30~11:30 第4回運営協議会	(1) 地域と連携した防災教育(巡視・参観) (2) 協議・情報交換
12		
1		
2	14日(金) 9:30~11:30 第5回運営協議会	(1) 学校関係者評価について協議 (2) 令和2年度学校づくりビジョンについて ※会議終了後、授業参観
3		